

講義名	社会学基礎		
科目区分	学部専門基礎		
担当教員	桑原 桃音 / 水野 英莉		
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 3時限	授業形態	
履修開始年次	1年生	単位数	2
		備考	

主題と概要

社会学は、世の中起こるあらゆる現象について、科学的に調べる学問である。科学的というのは、いつ誰が調べても同じ結果となるパターンを見つけ、そこから原因を説明し、結果を予測する、ということの意味する。社会学は、社会で生じている現象に注目して、その原因や問題解決の方法を探る。この講義では、現代社会を解き明かすために必要な道具（社会学理論の基礎）を学ぶこと、実際に道具を使って社会を読み解くことを目的とする。

到達目標

- 社会学の基礎的な考え方を理解できる
- 社会学の視点で社会を眺める基礎的な構えが身に付く

提出課題

講義中に課題の提出を課す。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

前週に行った課題やレスポンスでのコメント・質問に対し、回答します。

評価の基準

- 平常点（講義内のペーパーや課題の提出）
- 中間と期末にまとめたレポートを課す

履修にあたっての注意・助言他

Responというアプリを利用するので、初回授業の指示に従って速やかに準備を整えること。
毎週講義前にはRyuka Portalを確認すること。
教科書を使用するので、必ず準備すること。

下段にある「双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述」をよく読んでおくこと。

教科書	.大学生のための社会学入門 日本学会会議参照基準対応	篠原清夫・栗田真樹編	晃洋書房	2200	978-4-7710-2717-6
-----	----------------------------	------------	------	------	-------------------

プリント資料及び参考文献

資料必要に応じて、Ryuka Portalを配布する。参考文献も講義中に適宜指示する。
講義では、理解を深めるため、映像資料やウェブ上のサイトなども利用する。

授業計画

- 1 イントロダクション
- 2 社会学とは何か
- 3 社会で生きる「私」
- 4 「格差」の社会学
- 5 社会学は教育とどう向き合うのか
- 6 性の多様なありかた
- 7 中間レポート
- 8 変容する家族のかたち 1
- 9 変容する家族のかたち 2
- 10 社会の中のメディア / メディアが動かす社会
- 11 生活空間としての地域社会
- 12 逸脱と社会問題
- 13 社会学から医療を見つめる
- 14 最終レポート
- 15 まとめ

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート
エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション
カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

講義に出席するだけでは、十分な理解は得られない。知識として定着させるには、予習・復習は不可欠となる。次回講義に学習する教科書該当箇所を読んでおくこと。また、受講後に資料やノートを見直し、知識を整理し、わからないことを質問できるようにしておくこと。（所要時間計60時間）

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

オンライン授業で行います。担当教員（2名）によって授業の方法が異なりますので、十分注意してください。スマートフォン、PC、タブレット等を準備してください。
教材はパワーポイントのビデオ、音声ファイル、PDF等でRyukaPortal等にアップロードします。
アプリとしてはZoom、Skype for Business、Respon、Teamsのいくつかを使う予定です。
また学内メールアドレス、パスワードをあらかじめ確認しておいてください。

実務経験の有無及び活用

備考